

2021年4月19日

滋賀県知事 三日月大造様

日本共産党滋賀県議会議員団
団長 節木 三千代

【緊急要望】

- 新型コロナ「第4波」を直視し、封じ込めへあらゆる対策を
- 感染拡大につながる「滋賀旅」・GOTOイート事業は一旦中止に

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は危機的な段階にきている。大阪府では連日過去最高を更新し、医療崩壊の寸前になっている。兵庫県や奈良県などでも急拡大し、特に近畿圏は変異株の流行で、全国の中でも最も深刻な状況に陥っている。

滋賀県では14日時点での病床占有率や入院患者を合わせた療養者数が、基準を超えているため、15日の本部員会議で、県独自の対策ステージをステージ3・「警戒ステージ」に引き上げることを決めた。もかかわらず、GOTOイート事業や宿泊対象期間4月16日（金）宿泊～5月31日（月）の宿泊までの「今こそ滋賀を旅しよう！第3弾」を実施しているが、県民から感染拡大の不安が出されており、コロナ感染から県民を守る本気度が問われている。福井県では同様の事業の新規分は停止している。

今急がれているのは、医療体制の深刻なひっ迫をもたらした「第3波」の教訓と、これまでと異なる「第4波」の特性を踏まえた緊急対策である。感染爆発を抑え込み、医療崩壊を食い止め、生命と生活を守り抜く積極的な方策を国待ちにならず独自に立案し実施することである。

検査強化に消極的な姿勢を改め大規模検査戦略に踏み出すこと、重症病床を始め「第3波」を上回る感染者数を想定した受け入れ態勢をとること、飲食店および減収となる事業者への支援を強く求め以下の点を申し入れるものである。

1. 高齢者施設、医療機関、障害福祉施設に対して、職員への検査を頻回・定期的に行い、検査対象を入院患者・入所者等にも広げること。保育園等についても同様の措置を広げること。陽性者が出た場合はその施設の従事者と利用者全員の検査を行う。
2. 感染源や感染拡大の予兆を探知した地域や集団に全員検査を行うこと。
3. 大規模検査を医療機関や保健所の負担を増やさずに実施するため、民間検査機関への委託をさらに進める。全自動PCR検査トレーラーの購入・活用など、思い切った検査実施体制の拡充をはかること。
4. 変異株感染患者の早期探知のための全数検査と感染状況の把握を急ぐこと。そのために県衛生科学センターの体制強化を図ること。
5. 医療機関への県独自の財政支援をつよめること。
6. 感染拡大につながる「滋賀旅」、GOTOイート事業は一旦中止し、影響をうける中小零細業者に十分な補償をおこなうこと。

以上